

ネットには危険もいっぱい ～他人事だと思ってない？～

警 察 庁
文 部 科 学 省

■ ネットを利用したこんなキケンな事例や手口が！

コミュニティサイト(※)を通じて、児童買春や児童ポルノ等の犯罪の性犯罪被害にあった子供が急増している。

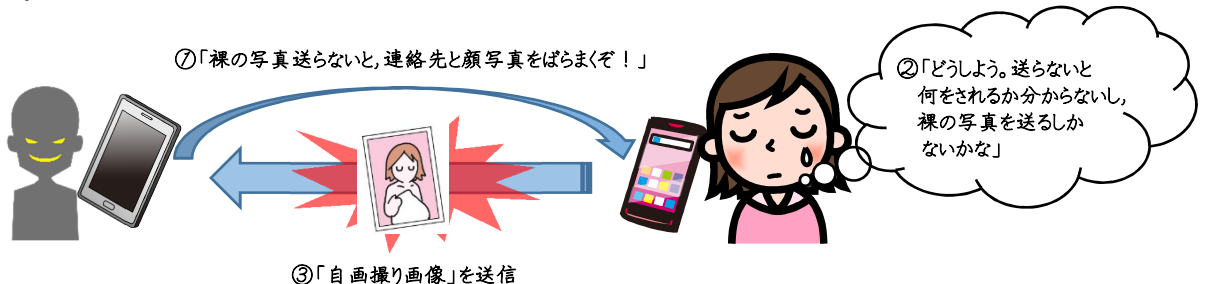
※ コミュニティサイトとは、Twitter、LINE、Facebook、Instagram 等のSNSをはじめとしたウェブサイト内で多人数とコミュニケーションがとれるもの(出会い系サイトを除く。)の総称。

○ 自撮り画像の送信

- ・ 女子中学生は、コミュニティサイトで知り合った男性モデルになりすました男に、自分の裸の画像を送信させられた。



- ・ 女子中学生は、コミュニティサイトで知り合った男に、連絡先と顔写真をばらまくと脅され、自分の裸の画像を送信させられた。



○ 危険な出会い

親とけんかをした女子中学生は、宿泊場所の提供を求めコミュニティサイトに書き込んだところ車で迎えに来た男から家出をするようにそそのかされ、そのまま男の家に連れて行かれた。



○ 男子も被害に！

男子中学生は、コミュニティサイトで知り合った男と実際に会った結果、わいせつな行為をされその様子をデジタルカメラで撮影された。その後、男から「学校にばらす」等と脅された。



○ オンラインゲームでも被害に！

女子中学生は、ゲームアプリで知り合った男とSNSで連絡を取るようになったことを契機として、裸の画像を要求され、自分の裸の画像を送信させられた。

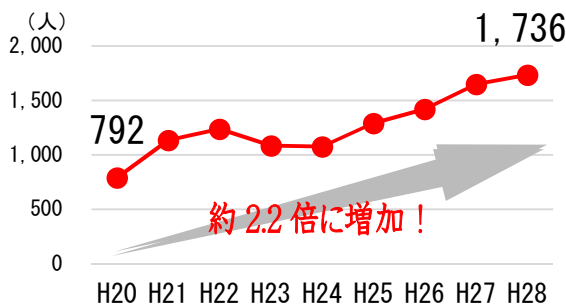


自分の裸や露出し過ぎた写真を送らない！ネット上での出会いには細心の注意を払う！

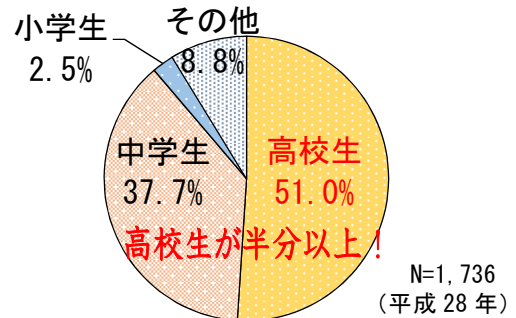
SNSなどネットでの犯罪被害が過去最多！

平成 28 年におけるコミュニティサイトを通じて児童買春や児童ポルノ等の犯罪被害にあった子供は 1,736 人(前年比+84 人)であり、過去最多。被害にあった子供は、高校生が半分以上。

コミュニティサイトで被害にあった子供の数



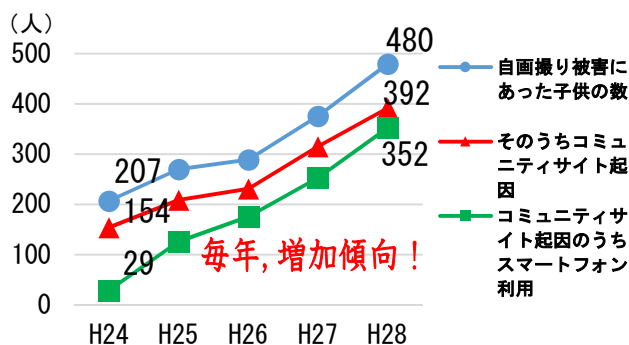
コミュニティサイトで被害にあった子供の内訳



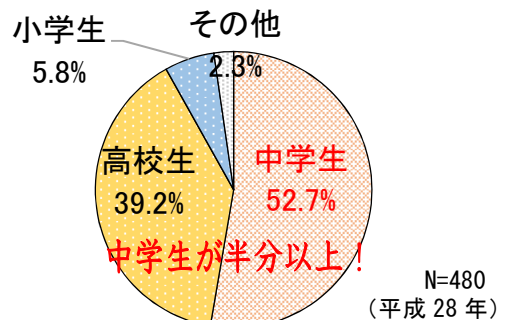
自分で自分の裸の写真を撮って送信させられるケースが増加！

平成 28 年における児童ポルノ事犯の自撮り被害にあった子供は 480 人(前年比+104 人)であり、増加傾向。そのうち、7割強がスマートフォンを使用してコミュニティサイトにアクセスしたことによるもの。自撮り被害(※)にあった子供は、中学生が半分以上。

自撮り被害にあった子供の数



自撮り被害にあった子供の内訳



※「自撮り被害」とは、だまされたり、脅されたりして子供が自分の裸を撮影させられた上、SNS等で送信させられる被害を指す。

もしもこのようなトラブルや犯罪被害にあってしまったら

すぐに保護者や先生、警察に相談しましょう。

【都道府県警察の少年相談窓口について】(警察庁ホームページ)

<http://www.npa.go.jp/higaisya/shien/torikumi/madoguchi.htm>



保護者の皆様へ

- 家庭のルールを作りましょう。
日頃からスマートフォンの利用法について子供とよく話し、トラブルがあったらすぐ相談に乗りましょう。
- フィルタリングを必ず利用しましょう。
携帯電話販売店に相談して、子供のスマートフォンにフィルタリングを掛けてもらいましょう。
- 実際にどういう手口で子供が被害にあうか、知っておきましょう。
警察では、インターネット利用に係る児童の犯罪被害等防止啓発動画を作成していますので、是非御覧下さい。



【インターネット利用に係る児童の犯罪被害等防止啓発】(公益財団法人警察協会ホームページ)

<http://www.keisatukyokai.or.jp/untitled29.html>



こんな被害や問題も発生しています

【いわゆるアダルトビデオ出演強要問題・「JKビジネス」問題等に関する啓発サイト】(内閣府ホームページ)

http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/avjk/index.html

